

### 1. 「農からの食育」の推進

滋賀県では、子どもたちが農業体験学習を通じて、農業への関心を高め、生命や食べ物大切さを学ぶ「農からの食育」を推進するため、各市町の小学校での取り組みを「たんぼのこ体験事業」として支援しています。

この「たんぼのこ体験事業」は、2002年度に始まり、2017年度には、県下全市町の203校(全小学校の約90%)に広がっています。



写真T-1 子どもたちの田植え風景

### 2. 体験学習の内容

子どもたち自らが、田んぼや畑に入り、植え付けから収穫までの様々な農作業を行い、また、収穫した作物を調理して食べるなど、一貫した農業体験学習(「育て」「収穫し」「食べる」)が特徴です。

農業体験学習に加え、作物の生育観察や田んぼ・畑周辺の動植物調査、水質調査などの「環境サポートメニュー」や、地域の農産物や伝統食文化の学習、地元伝統食の調理体験などの「地産地消メニュー」を実施するステップアップ事業も行っています。



写真T-2 育てた稲を収穫する



写真T-3 自分たちで作って食べる

教育現場からは、「作物を育てる楽しさや苦労を実感できた」、「農作業を通じて働くことの意義を感じた」、「気温や降水量など環境学習における今日的課題を考える機会となった」、などの声が寄せられています。また、農作業や調理体験の指導等を通して、地域の方々との交流も深まっています。

### 食のブランド推進課

## — 第3章 —

# 琵琶湖と人の歴史



©びわこビジターズビューロー

長浜曳山祭



八幡堀